

水害時の備えに関する確認書(啓発活動)への取り組み報告

意見・感想

「取組前」 ・ 訪問時に取組んでみようと思う ・ 法人内において要支援者の洗い出しをしている

「取組後」

- ・ どのくらいの備蓄が必要かを考えるきっかけになって良いと感じた ・ 一緒に確認することで災害時の対応をご本人と明確にできた
- ・ 障がいの種別等によって伝え方に違いがあると感じた ・ 相談員として啓発を取り組んでいきたい
- ・ 自分の担当する利用者さんの住まいが水害時どのような状況なのか把握するよい機会になった ・ 心配な人から少しずつ状況把握していきたい
- ・ 避難所まで移動訓練で行ってみようと思う(高次脳) ・ 普段やっていることが災害時にも生きてくることを改めて理解できた(視覚・高次脳)

様式について

- ・ 確認書でチェックすることによって自分の家の周辺がどのくらいの危険度なのかが可視化されてわかりやすい
- ・ 進んで行きついた先が自分の現状とわかるフローチャートがあるとわかりやすい。絵や図式化するのもよい
- ・ 避難先の確保と縁故等避難がやや重複している ・ ☆避難グッズの確認について、「避難グッズの有無」の選択肢があると良い
- ・ 安否確認の必要性という設問があるが、支援が必要となった場合の対応が難しい

個別課題

- ・ 避難場所はわかっているにもかかわらずそこに行くまでの手段が定まっていない
- ・ 避難場所はわかっているにもかかわらず避難行動がギリギリまでできない(世帯としての自力避難が大変)
- ・ 避難のタイミングが難しい
- ・ 医ケアの方は医療機器等個別に必要な量が多く、避難時に人的支援が必要
- ・ 水害に対するイメージが持てない方が多い

地域課題

- ・ 若い世代ほど頼り先が少ない
- ・ 居住地域によって意識に差がある
- ・ 独自に取り組んでいる事業所もあるが、地域で共有されていない

今後について

- ・ 相談支援事業所をはじめ、各支援事業所にも協力を依頼し支援の取り組みを広げていく
- ・ 年間を通して個々の状況を把握していく